

循環経済で政策集

建設リサイクルを高度化

政府は、サーキュラーエコノミー（循環経済）の推進に向けた政策パッケージをまとめた。廃棄物の循環利用を進め付加価値の創出につなげるため、建設リサイクルの高度化や建築物の木材利用などに

取り組む。再生材原料の広域回収と再資源化を実現する拠点構築に向けた調査も実施する。

政策パッケージは、▽地域の資源循環▽国内外の資源

循環ネットワーク構築▽資源循環市場創出に向けたルール

形成の3本柱で各省庁の取り組みをまとめた。予算規模は2024年度補正予算と25年度当初予算案を合わせて779億円で、これに交付金などの内数計上分を加える。

建設リサイクルの高度化に

向けて、国土交通省は再生コンクリート骨材などの利用拡大や、建設発生土の有効利用

に関するマッチング強化に取り組む。再生アスファルト合材の水平リサイクルを促す対

応方針も検討する。

農林水産省の森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策や国土省の優良木造建築物等整備推進事業などにより、中高層木造建築物の普及や木造建築材料の開発を進め、森林資源の循環利用につなげる。

資源循環ネットワークや拠点の構築に向けて、環境省は全国12カ所で開催事業に着手する。

広域的な資源循環を促進する循環経済拠点港湾（サーキュラーエコノミーポーク）と述べた。

ト）の選定も国土省で進めていく。

政策パッケージは24年12月27日に開いた循環経済に関する関係閣僚会議でまとめた。

石破茂首相は「循環経済への移行は、国民のライフスタイルの転換、製品の設計から廃棄物の再資源化や再生材の利用まで、サプライチェーン全体のあらゆる企業の変革を伴うものであり、本閣僚会議が今後とも司令塔となって国家戦略として推し進めていく」と述べた。

